

D. アンケート内容および集計結果について

アンケート調査1：学生による講義のアンケート

科目名：各専攻通論

1. 内容への関心度について
(1. 非常に面白い 2. 面白い 3. やや面白い
4. それほど面白くない 5. つまらない 6. 非常につまらない)
2. 内容の理解度について
(1. よく理解できた 2. 理解できた 3. どちらかといえば理解できた
4. あまり理解できない 5. 理解できない 6. まったく理解できない)
3. 内容の説明について
(1. 非常に良くわかる 2. わかりやすい 3. どちらかといえばわかりやすい
4. どちらかといえばわかりにくい 5. わかりにくい 6. 非常にわかりにくい)
4. 説明の速さについて
(1. 速すぎる 2. 速い 3. やや速い 4. やや遅い 5. 遅い 6. 遅すぎる)
5. この講義を理解するために予習，復習を
(1. 非常に熱心にした 2. 毎回した 3. 必要に応じてした
4. あまり考えなかった 5. 特にしなかった 6. まったく必要ないと思った)
6. OHP, PPT, 板書について
(1. 非常に良くできている 2. 良くできている 3. 良くできているほう
4. それほどよくはない 5. よくない 6. 非常に悪い)
7. 教員の講義に対する意欲
(1. 非常に意欲を感じる 2. 意欲を感じる 3. 少しは意欲が感じられる
4. あまり意欲が感じられない 5. 意欲がない 6. まったく意欲がない)
8. 講義の題材について
(1. 非常にうまく選ばれている 2. 適切に選ばれている 3. おおむね適切である
4. それほど適切ではない 5. 適切に選ばれてない 6. 題材の選択に疑問を感じる)
9. 課題レポートについて
(1. 非常によく考えられている 2. よく考えられている 3. 適切である
4. あまり適切とは思わない 5. 不適切であった 6. きわめて不適切であった)
10. この講義を受けて
(1. 非常によかった 2. よかった 3. よかったほう
4. それほど役に立たなかった 5. むだだった 6. このような講義は必要ない)
11. この講義を受けることによってこの分野，関連分野への関心が
(1. 非常に高まった 2. 高まった 3. やや高まった
4. 受ける前とあまり変わらない 5. 減った 6. 幻滅を感じた)
12. この講義について考えるところを自由に書いてください.
また
複数の教員によるメリット，デメリットについて
(教員ごとに評価が別れる場合は，このアンケート用紙をコピーしてそれぞれについて記入してください)
通論のテキストについて
なども書いてください

アンケート1集計結果

質 問	評 価	社会・環 境通論 I	社会・環 境通論 II	基礎 通論	変換 通論	応用 通論
1.内容への関 心度について	非常に面白い	0	1	0	0	1
	面白い	5	2	3	4	2
	やや面白い	4	7	4	9	6
	それほど面白くない	0	4	0	2	1
	つまらない	1	0	1	0	0
	非常につまらない	0	0	0	0	0
2.内容の理解 度について	よく理解できた	0	0	0	0	0
	理解できた	3	2	1	3	5
	どちらといえば理解できた	5	8	3	6	2
	あまり理解できない	2	4	3	6	3
	理解できない	0	0	0	0	0
	まったく理解できない	0	0	1	0	0
3.内容の説明 について	非常に良くわかる	0	0	0	0	0
	わかりやすい	1	2	1	5	6
	どちらかといえばわかりやすい	9	7	4	4	2
	どちらかといえばわかりにくい	0	5	0	5	2
	わかりにくい	0	0	2	1	0
	非常にわかりにくい	0	0	1	0	0
4.説明の速さ について	速すぎる	0	0	1	0	0
	速い	0	1	0	3	3
	やや速い	7	9	4	8	2
	やや遅い	2	3	3	4	5
	遅い	1	1	0	0	0
	遅すぎる	0	0	0	0	0
5.この講義を 理解するた めに予習，復 習を	非常に熱心にした	0	0	0	0	0
	毎回した	0	0	0	0	0
	必要に応じてした	3	5	2	1	1
	あまり考えなかった	2	1	5	3	4
	特にしなかった	3	6	0	7	4
	まったく必要ないと思った	2	2	1	4	1
6. OHP, PPT, 板書について	非常に良くできている	0	1	1	1	0
	良くできている	4	3	2	7	7
	良くできているほう	2	8	3	4	2
	それほどよくはない	4	2	1	3	1
	よくない	0	0	1	0	0
	非常に悪い	0	0	0	0	0
7.教員の講義 に対する意欲	非常に意欲を感じる	0	0	0	0	0
	意欲を感じる	5	3	3	4	5
	少しは意欲を感じる	4	9	3	9	2
	あまり意欲が感じられない	1	1	0	2	3
	意欲がない	0	1	2	0	0
	まったく意欲がない	0	0	0	0	0
8.講義の題材 について	非常にうまく選ばれている	0	0	0	0	0
	適切に選ばれている	5	5	2	5	3
	おおむね適切である	5	6	5	9	5
	それほど適切ではない	0	2	1	0	1
	適切に選ばれていない	0	0	0	0	1

8.(続き)	題材の選択に疑問を感じる	0	1	0	1	0
9. 課題, レポートについて	非常に良く考えられている	0	0	0	0	0
	良く考えられている	1	3	0	2	0
	適切である	5	6	4	8	6
	あまり適切とは思わない	3	4	4	3	3
	不適切であった	1	0	0	2	1
	きわめて不適切であった	0	1	0	0	0
10. この講義を受けて	非常に良かった	0	0	0	1	1
	良かった	4	4	3	4	2
	よかったほう	6	8	4	9	3
	それほど役にたたなかった	0	1	1	1	4
	むだだった	0	1	0	0	0
	このような講義は必要ない	0	0	0	0	0
11. この講義を受けることによりこの分野, 関連分野への関心が	非常に高まった	0	1	0	0	0
	高まった	5	2	3	5	2
	やや高まった	5	7	4	7	5
	受ける前とあまり変わらない	0	3	1	2	3
	減った	0	1	0	1	0
	幻滅を感じた	0	0	0	0	0

12. この講義について考えるところを自由に書いてください。

- ・メリット・・・色んな話を聞ける。
- ・デメリット・・・話が抽象的すぎる。
- ・テキスト・・・使わなかった。不要。
- ・エネルギー変換といっても、いくつかの分野（動力・燃焼，材力強度，原子核関係など）に分かれている。これらの分野を広く浅くではあるが，知ることができたのはよかったと思う。その点は複数の教員によるメリット，といえるだろう。通論のテキストについては，授業中にパワーポイントを見ることが多いので，あまり目を通すことはなかった。
- ・同じ教員の授業を同時期に受講していたものが多く，内容が重複していた。
- ・様々な内容の講義が聞けて，大変良かった。
- ・テキストと発表されるパワーポイントの内容が違っていて講義のレビューがしにくいときがある。
- ・内容が各先生方が専門としておられる分野から出されるのはもっともではあるが，特に変換は主に「核プラズマ」「材料」「燃焼」の分野から成り立っているため，どうしても話が偏りがちで，通論（総論）というよりもむしろ各論に近い趣である。（バラエティに欠く）もう少し広い分野から，たくさんのアプローチの話が聞けたらと思う。また，教官によっては，他の自分の講義と内容がモロにかぶっているときもあり，その講義に出席している人にとってはあまり意味のない時間になってしまう。
- ・テキストは必要ない。1回では伝えられるものが少なすぎるから通年，あるいは分野毎に前，後期に分けて最低2回くらいの授業がほしい。
- ・専門分野以外の最先端の内容であり，初めは興味を持てたが，若干話が複雑になると眠ってしまうこともあった。なるべく簡単な広く浅い授業をお願いします。
- ・自分の専門とまったく異なる分野の講義もあったため，それらはわかりにくかった。出席の取り方や講義の進め方などそれぞれの先生のスタイルはあると思うが，通論というぐらいいなので統一してほしいと思う。また，テキストに関しては講義を進めるにあたりあまり重要視されていないように感じた。
- ・複数の教員の話が聞けるためいろいろなことが勉強でき，おもしろかった。通論のテキストと全く同じものをコピーして持ってきた先生がいたが，紙の無駄であると思う。
- ・他の研究室の研究内容がわかって参考になるが，時間が90分と限られているため，全体把握すらあまりできない研究分野も出てくる。無理して，変換のほぼ全員の教員を配置する必要はないのでは・・・教授だけに限定し，2回分講義という手もあるように思える。テキストは適宜必要なら，授業でプリントを配布する形でよい。
- ・非常に広範にわたる分野の話をかいつまんで聞けて良かった。
- ・専門外の内容でまれに難解な部分がありました。レポート課題も場合によって説明不足だと思いました。複数教員である点はよかったです。中には技術が専門すぎて内容が理解できない場合があります。テキストはよくできていたと思います。

- ・余りに概論ばかりだったり、同じ類の話を色々な先生から聞いたり、何となく非効率的だなと思った。
- ・PPTのスライドとテキストが一致しておらず、内容もズレたりしていたので、予習・復習などがやりにくかったです。テキストに沿った解説で授業を進めるか、スライドをプリントするかなど統一してほしいです。
- ・違う教官から同じ話をきくことが多々あった。
- ・それぞれがバラバラな内容すぎて、理解度が浅くなってしまったように思います。先生方も1コマに内容をつめすぎている感じがあったので内容を聞き取るだけで苦労しました。それでも最後のPC討論はよかったです。そのため自主学习が唯一勉強になったかと思えます。
- ・テキストは使用せず、必要に応じてプリントを配布すればよい。
- ・複数の教員が授業を行うことで、それぞれの体験を聞くことができるメリットがあった。デメリットとしては、話が重複したり、内容が深まらないということがあったが、後者については深まる必要もないように感じた。なぜなら、生徒側のほとんどは専門としないからである。全体としては、デメリットよりもメリットの方が大きいと思う。
- ・〇〇先生のページで前後しているところがありました。毎回内容が変わるし、後期にしか講義をもたない先生の講義がうけられるので、参考になった。
- ・特になし
- ・教員により話のレベルが異なり、浅く広くされた方と狭く深くされた方がおられ、狭く深くされた方は話が難解で内容がついていけない場合があります。テキストはよくできていたと思います。
- ・プラズマは、わからない。
- ・通論なので仕方無いが、自分の専門でない分野で概論でない話をされると全く分からなかった。
- ・分野が異なると全くわかりませんでした。私の勉強不足かもしれませんが、もう少しわかりやすい、丁寧な説明をしてほしいです。
- ・通論IIでも Debate があるのが、謎だった。1限はつらいので2限にしてほしい。
- ・〇わりと環境全般の話に終始していたように思います。
- ・×1限に授業をすると大変なので昼からにしてほしいです。
- ・ディベート議題が賛成と反対で明らかに不公平なテーマがあった。
- ・個人的だが、〇〇先生が遅れて教室に入ってきた学生一人一人に文句を言ってその度に講義が止まるのに憤りを感じた。過去に遅れた学生に「君らは授業料ムダじゃないのかね」みたいなことを言っていたらしいが、真面目に最初から授業に出てきた学生も授業料を払っている。先生が授業を途切れさせることで彼らの授業料がムダになっていることに気づいてほしい。
- ・あまりなじみのない分野の内容の話を開けたという点では、面白かった。ただし、内容が専門的過ぎて、ついていけない講義が多かった。各分野の関係性や、全体の中での位置付けについてのイントロダクションが少なく、情報が断片的に示されているように感じた。それが、複数の教員によるデメリットかもしれないと思う。この講義の趣旨は、エネルギー応用科学分野の入門と全体像の把握だと思うので、講義は問題提起とヒントの提示にとどめ、解説は文献を紹介するなどの形が望ましいと思う。
- ・教員によってはあまり意欲の感じられない講義もあったと思う。
- ・全く違った分野の事を知る大変良い機会になったと思う。
- ・先生が来るのが遅いため、教室の外でずっと待たなければならなかった。
- ・興味深いテーマが多く、良かった。
- ・他の専攻の通論の授業（変換は受講してませんが）と比べ、自分の研究室の研究内容に終始している印象を受けました。そのため、自分の興味のある分野（前提知識のある分野）では面白く聞けましたが、そうでない分野ではよくわかりませんでした。そうはいつても、学会で前提知識のない分野の発表を聞くことなどを考えると、こういうもの（授業）も必要ではないかと思えます。

アンケート2：教員による学生に対するアンケート

1. 学生の講義の理解度，割合を％で表示してください。
(完璧 ％，ほぼ完全 ％， おおむね良 ％， やや不足 ％， 不足 ％， 問題外 ％)
2. 講義に取り組む意欲，割合を％で表示してください。
(完璧 ％，ほぼ完全 ％， おおむね良 ％， やや不足 ％， 不足 ％， 問題外 ％)
3. 学生によるアンケート結果。
(非常に正確， 正確 ， おおむね正確 ， やや不正確， 不正確， 問題外)
4. 次年度以降学生のアンケート結果を
(積極的に参考にする， 一部参考にする ， 参考にしない)
5. 成績評価
(出席＋試験， 出席＋レポート， 試験， レポート， その他)
6. 出身学部の違いによって講義の進め方， 内容で不都合を
(強く感じる， 感じる， 時々感じる， あまり感じない， 感じない， まったく感じない)
7. 学部時代に修得しておいてほしい科目名
例 倫理学， 哲学， 電磁気学， 量子力学
8. 講義の準備に要する時間
(1時間以下， 1～2時間， 2～3時間， 3時間以上)
9. 講義に使用する教材
(自作する， 教科書， 論文を指定， 特に用意しない)
10. 講義にあたって特に配慮していること
出席を(とる， とらない)
主として(板書， パソコンベース)を用いる
学生に質問を(よくする， しない)
その他()
11. A 群科目の単位認定方法をお書きください。
例 学期始めに研究目標， 研究計画書の提出
研究室定例研究会での発表
学期終了時における進捗状況の報告書提出による総合評価で単位認定を行う。
12. 今後の改善につながることをご自由にお書きください。

アンケート2集計結果

1. 学生の講義の理解度. 学生数の割合を%で表示してください. (括弧内数字は回答数)

完璧	10%(3), 5%(4)
ほぼ完璧	30%(1), 25%(1), 20%(5), 15%(2), 10%(6), 5%(1)
おおむね良	100%(3), 90%(1), 80%(3), 70%(1), 60%(5), 50%(9), 40%(1), 35%(1), 30%(2), 20%(1)
やや不足	50%(4), 40%(3), 30%(4), 25%(1), 20%(3), 15%(1), 10%(2)
不足	20%(1), 10%(5), 5%(3)
問題外	35%(1), 10%(1), 2%(1)

2. 学生の講義に取り組む意欲. 学生数の割合を%で表示してください. (括弧内数字は回答数)

完璧	20%(1), 10%(2), 5%(2)
ほぼ完璧	50%(1), 30%(1), 20%(7), 15%(1), 10%(4), 5%(1)
おおむね良	100%(3), 80%(3), 70%(2), 60%(7), 50%(5), 40%(2), 30%(3), 20%(2)
やや不足	100%(1), 50%(3), 40%(1), 30%(7), 25%(1), 20%(6), 10%(3)
不足	20%(1), 15%(1), 10%(7)
問題外	30%(1), 20%(1), 10%(1), 5%(1)

3. 学生によるアンケート結果は, (数字は回答数)

非常に正確 : 0, 正確 : 4, おおむね正確 : 21, やや不正確 : 2, 不正確 : 0, 問題外 : 1

4. 学生のアンケート結果を, (数字は回答数)

積極的に参考にする : 7, 一部参考にする : 20, 参考にしない : 2

5. 成績評価の方法 (数字は回答数)

出席+試験 : 3, 出席+レポート : 17, 試験 : 3, レポート : 6, その他 : 1 (当日のテスト)

6. 出身学部の違いによって講義の進め方, 内容の選択で不都合を (数字は回答数)

強く感じる : 7, 感じる : 8, 時々感じる : 10, あまり感じない : 4, 感じない : 0, まったく感じない : 0

7. 講義の理解度を深めるため学部時代に修得してほしい科目名を複数提示してください.

- | | | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・技術と社会のかわり ・心理学 ・倫理学 ・英語 ・数学 (微積, 複素関数, ベクトル) | <ul style="list-style-type: none"> ル, スペクトル, 誤差) ・基礎的な物理 ・力学 ・解析力学 ・流体力学 ・統計熱力学 | <ul style="list-style-type: none"> ・電磁気学 ・熱力学 ・量子論 ・量子力学 ・相対論 ・固体物理 ・放射線物理 | <ul style="list-style-type: none"> ・化学 ・熱化学 ・物理化学 ・電気化学 ・無機化学 ・有機化学 ・生化学 | <ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス化学 ・工学 ・金属組織学 ・材料力学 ・弾性論 ・塑性論 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

8. エネルギー科学研究科を修了するために修得すべき項目を複数あげてください.

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーとは ・エネルギーの単位 ・エネルギーに関する法則 ・高品位エネルギー ・人間社会におけるエネルギー源の意義 ・エネルギー問題に関する基本的知識 ・エネルギー源とエネルギー利用形態の違い ・新エネルギーに対する正しい理解 ・エネルギー統計, エネルギー情報と政策 ・バイオマスとは ・一次エネルギー概論 ・再生エネルギー論 | <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの基礎知識 (エネルギー工学) ・エネルギーシステムの社会的受容性 ・エネルギーに関する化学 ・生化学 ・物理化学等基礎科学 ・エネルギー変換, 貯蔵, 輸送に関する基礎科学 ・化学 ・生物学 ・物理学 ・熱力学 ・熱化学 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- ・材料科学
- ・物理化学の修士レベルの基礎知識
- ・熱エネルギー収支
- ・エネルギーとは何かを総合的に理解すべき。
- ・エネルギーに関するできるだけ広い知識と専門知識。
- ・一つのテーマを深く追求して研究方法を身につけること。
- ・基本的な科学的な考え方。
- ・自らの研究課題に関する専門性とエネルギーとの関連性。
- ・自分の進む専攻分野の基礎理論。
- ・エネルギーの切り口は多種多様なため項目を絞りきるのは大変難しい。

9. 1回の講義の準備に要する時間 (数字は回答数)

1時間以下：1, 1～2時間：8, 2～3時間：9, 3時間以上：11

10. 講義に使用する教材 (数字は回答数)

自作する：27, 教科書, 論文を指定：2, 特に用意しない：0

11. 講義にあたって特に配慮していること。(数字は回答数)

出席を(とる：23, とらない：7)

主として(板書：15, パソコンベース：19)を用いる

学生に質問を(よくする：9, ときどきする：18, しない：2)

12. A 群科目の単位認定方法をお書きください。

- ・学期始めに研究目標, 研究計画書の提出
- ・研究室定例研究会での発表, 学会等への発表
- ・学期終了時における進捗状況の報告書提出による総合評価で単位認定を行う
- ・日常の研究活動の評価
- ・定例研究会での発表, 普段の出席, 研究の進め方の状況, 学会発表等の総合評価
- ・成果も重要だが, それに至る考え方や努力も評価している。

13. 今後の教育体制改善につながることをご自由にお書きください。

- ・博士の数を増やすのなら, アメリカにあるようなバイパス制度を確立すればよいと思います。また板書を重要視すべき(学生は書くことで学ぶ)と考えます。
- ・企業が博士の学生を重要視するよう我々も働きかける必要あり。
- ・(研究などの)面白さを伝える教育が重要だとおもいます。
- ・トピックではなく, 基礎学問の修得。
- ・教員が教えたい科目で授業を構成するのではなく, 学生に必要な科目をまず設計した後に, 担当できる教員を配置する。
- ・4専攻の体制を再編成すべきであろう。体系的な教育カリキュラムとは思えない。
- ・複数の分野で共通に教えられる内容を話し合っただけで講義が互いに補完し合えるようにした方がいい。
- ・ネイティブによる科学英語教育。
- ・国語力の強化, 読み, 書き, 話し, 聞く力が不足している。
- ・必修科目数を減らして, より実験研究が可能な体制に改善。
- ・あまり自分の分野だけにとじこもらず, 専攻内, 研究科内全体での位置づけを考えて自分の分野の発展を計画する。また研究科全体でいえば学内研究科, 研究所との人間的交流, 共同研究を先にする。
- ・学生が興味を持たせる努力?? 小学校のようですが。
- ・上記8に関連して必修科目を作るべきではないか。
- ・学生の力を正しく把握して, 1対1のきめ細かい研究指導が重要である。
- ・講義による単位を減らし, 研究活動による単位を増やすこと。
- ・2年間という短い期間に多くのことを求めない体制が必要である。
- ・教科書の整備必要。

アンケート3：学生によるエネルギー科学研究科に対するアンケート

選択肢のある場合は選択し、ない場合は適宜記載してください。

1. 所属専攻（社会・環境，基礎，変換，応用）
2. 出身学部（工学系，農学系，理学系，経済学系，法学系，教育系，その他）
学科（土木・建築・環境，機械，電気，資源，化学，原子核，数理・情報，林産，森林資源，
応用生物，生物環境，物理学，生物学，数学，地質鉱物学，経済学，経営学，政治学，
法学，教育学）
3. エネルギー科学研究科を志望した動機
()
4. 所属専攻を決めた理由
()
5. 講義について
 - 5-1 修了に必要な単位数を取得するためにどのような観点から講義科目を選択しますか。
()
 - 5-2 単位取得の観点から講義科目全体をみてその配当についてどう思いますか。
(適切である， 不必要な科目が多い， いずれでもない)
その理由は，
()
 - 5-3 受講した科目で理解が困難な科目がありましたか。
代表的な科目名を1つ挙げてください。
()
理解困難である理由は何ですか
(出身学部で履修したことがないので基礎的な部分がわからないから，講義の進み方が速いから，
題材の提示法がうまくないから)
学部時代にもっと勉強しておけばよかったと思う科目は何ですか。（複数可）
()
 - 5-4 その他
開講してほしい科目や講義内容等，要望を記してください。（複数可）
()
6. 研究指導について
(きめ細かい指導を受けている，研究テーマだけを与えてもらって自由に研究を進めている，
ほとんど指導を受けていない)
要望を記してください。
()
7. 学生教育で最も充実してほしいことは何ですか（複数可）
 - 教育設備について
()
 - 教育制度について
()
 - 教員の資質について
()
 - その他
()
8. 入学前の期待と入学後の現実との間にギャップがありましたか
(ある， ない)
ある場合どのような点ですか
()
9. 入学前に博士後期課程への進学することを考えていましたか
(考えていた， 考えていなかった， 決めていなかった)

その理由は何ですか

()

入学してからはその考えに変わりがありましたか

(当初の希望通り進学することに決めた, 就職を考えていたが進学することにした,
進学を希望していたが就職することにした, M1の後期までに決められなかった)

その理由は何ですか

()

10. エネルギー科学研究科を修了した後, どのような職業を選びたいですか (複数可)

()

11. 大学教員を魅力ある職業と考えますか

(魅力あるのでできればなりたい, 魅力はあるが目標とはしない, 魅力はない)

その理由は何ですか

()

アンケート3集計結果

(回答者：97名)

選択肢のある場合は選択し、ない場合は適宜記載してください。

1. 所属専攻 社会・環境：15名，基礎：29名，変換：23名，応用：29名，無記入：1名

2. 出身学部 工学系：79名，農学系：3名，理学系：9名，経済学系：1名，法学系：0名，
教育学系：0名，その他：1名，無記入：4名

学 科 土木・建築・環境：3名，機械：15名，電気：8名，資源：8名，化学：13名，
原子核：3名，数理・情報：0名，林産：1名，森林資源：0名，応用生物：0名，
生物環境：0名，物理学：33名，生物学：0名，数学：0名，地質鉱物学 0名，
経済学：1名，経営学：0名，政治学：0名，法学：0名，教育学：0名，環境：1名，
土木・建築・環境・資源：1名，建築：1名，機械・物理工学科：1名，
環境・機械：1名，物質：1名，無記入：6名

3. エネルギー科学研究科を志望した動機

- ・名前にひかれた
- ・元の大学院に落ちた。友人がここをすすめてくれ、調べてみると良かった。
- ・将来のエネルギー問題に興味があったから
- ・エネルギー問題について勉強し、社会に貢献したいと考えた為。
- ・最も興味をもてる分野であったから
- ・環境に関する研究がしたかったから
- ・幅広く工学系の研究室があったから。
- ・おもしろそうだから
- ・学部で学んだ知識を活かせると思ったから。
- ・「エネルギー」に興味があったので。
- ・エネルギー問題に興味があったので。
- ・3回生のコース分けに際して、環境・エネルギー問題に危機意識を抱きエネルギーコースを選択した。その後、研究室配属を経て本研究科に進学した。
- ・興味のある研究室があったから
- ・幅広い分野の知識が得られると思ったから
- ・エネルギー問題を専門に取り扱う研究に携わりたいと考えた
- ・研究内容が自分の興味と一致したので
- ・工学研究科が嫌だったため
- ・生体材料分野に関心があったため
- ・現在所属している研究室の研究内容に関心を持っていたから
- ・行きたい研究室があったため（4回生で配属されたところ）
- ・そもそも学部の配属先が現研究室だったため。以来、満足している。
- ・進路に考える研究室がエネルギー科学研究科だったから
- ・研究室にそのまま残るため
- ・幅広く、学問分野を取り扱っているから
- ・エネルギー環境問題に関心があったから。試験科目が他大学からも受けやすかったから。
- ・志望した研究テーマと合致したから
- ・興味のある研究分野があったから
- ・研究内容に興味があったから
- ・専門的知識を深めたかった。
- ・エネルギー問題に対する自然科学外からのアプローチに興味を持った。
- ・研究成果が優れている。就職するために自分の興味のある分野。
- ・先輩から話を聞いて興味を持った。
- ・興味があり、より自分の可能性を伸ばせると思ったから
- ・エネルギーについて学びたかったから。
- ・エネルギー問題に興味があり、省エネ等に携わる研究がしたかったため。
- ・クリーンエネルギーの創出に関わる研究を大学院で研究したいと考えたから。
- ・希望の研究内容の研究室があったから。自分がエネルギー応用科学コースだったから。
- ・無機物質の合成に興味があったから。
- ・他の研究室に比べて魅力的に感じたから。
- ・研究内容に興味があったため
- ・エネルギー問題を化学的に捉えたかったから。
- ・就職がよいと聞いたから
- ・バイオマスエネルギーについて興味があったから
- ・より専門知識を高められると思った。
- ・環境問題やエネルギーに興味があり、今所属している研究室がたまたまエネ科にあったから。
- ・環境に関する知識だけではなく、それを生かす手段を身につけるため。
- ・電気系のことについて、興味のある分野の研究室があったため
- ・工学研究科に進学できる余地がなかったから。
- ・私は、〇〇大学工学部出身です。学部では熱発電の研究をしていたため、修士でもそのようなエネルギー有効利用に関する研

究を続けたいと思い、入試説明会に参加しました。そして、希望通りの進学先であると考えたため、志望しました。(〇〇大の院試が不合格だったという経緯があります)

- ・研究指導を受けたい教授がいるから。
- ・新エネルギーなどエネルギー問題に関心があったこと。学部の実験室が所属していたこと。
- ・時代的にこれから必要そうだったから
- ・理系分野だから
- ・工学部在籍時に現在の研究室に配属し、研究内容に魅力を感じたため
- ・キャンパスが研究室に余裕がある(人口密度が低い)から
- ・学部4年生時の研究に興味があり、継続して取り組みたかったから
- ・次世代のエネルギーについて勉強したかったから
- ・研究内容(レーザー、加速器)に興味があったため
- ・幅広い知見を得られると思ったから
- ・根本的なエネルギー問題の解決に関する研究がしたかったから。
- ・志望する専攻があり、かつ、幅広い知見を得られそうだったから。
- ・学科ではシミュレーション解析をしていた

4. 所属専攻を決めた理由

- ・名前にひかれた
- ・入試時期
- ・核融合の研究がしたかったから
- ・研究内容。研究室の雰囲気。
- ・自分のやりたいこと、研究してみたいことと合致したから。
- ・理系分野に限らず、幅広い教養を身につけたかったから。
- ・機械系の分野に興味があったから。
- ・配属研究室が基礎にあったから。
- ・興味のある分野に関連があったから。
- ・4年生の研究室配属の際に、活発で先見的な研究姿勢にひかれて、基礎科学専攻の研究室を選び、その後の院への進学に際しても、同様の研究環境を希望したから。
- ・興味のある研究室があったから。
- ・学部のときの研究をさらに続けたいと思ったから。
- ・研究内容が自分の興味と一致したから。
- ・研究テーマ
- ・生体材料分野に関心があったから
- ・現在所属している研究室の研究内容に関心を持っていたから。
- ・そもそも学部の配属先が現研究室だったから。以来、満足している。
- ・希望する研究室がエネ科だったから
- ・研究室にそのまま残るため
- ・化学工学系に最も近かったから

が、実験を行いたかったから。

また、エネルギー・環境の分野について幅広く学びたかったから。

- ・プラズマの勉強をしたかったから。
- ・エンジンに興味があり、その研究室があったから。
- ・やってみようという研究テーマがあったから
- ・エネルギー事情への興味
- ・やりたい研究があったことと、エネルギー科学という文理の枠をこえた大きなテーマに取り組みたかったから。
- ・自分の興味のある分野が多かったから。
- ・未来のエネルギー源開発に興味があったから。
- ・エネルギー問題に興味があった
- ・グローバルな環境問題に関心があった
- ・院からは少し違ったことをしたいと思ったから。
- ・B4の時に配属された研究室がエネ科所属だったから 9名
- ・希望する研究室がエネ科所属だったから 7名
- ・3年生の配属でエネルギー応用サブコースに配属されたから 2名
- ・特になし 2名
- ・無記入 5名

- ・試験科目が最も受験しやすかったから。
- ・志望した研究テーマと合致したから。
- ・教授のすすめ
- ・エネルギー問題に対する自然科学外からのアプローチに興味を持った。
- ・先輩がいたことで情報を持っていた。
- ・先輩から話を聞いて興味を持った。
- ・様々な分野の人と総合的に勉強できると思ったから。
- ・元々、専門であった経済の知識をいかしたかったから。
- ・より基礎的な研究をしたかったから。
- ・研究室を調べ、志望する研究室のある専攻を決定。
- ・希望の研究内容の研究室があったから。自分がエネルギー応用科学コースだったから。
- ・興味のある研究室があったから。
- ・試験科目の内容から
- ・バイオマスエネルギーについて興味があったから。
- ・複合領域の学門に属しているので、より社会にインパクトが強いと思った。
- ・今の研究室がその専攻だったから。
- ・電子系の研究室を希望していたから。
- ・電気系のことについて、興味のある分野の研究室があったから。
- ・出身学部と専門が一致したから
- ・物理化学、化学工学の知識を基礎とした、

- エネルギー有効利用に関する研究の中でも特に熱電発電とその材料の研究を行っている研究室があったため、決めました。
- 自分が研究をしたい分野があるから。
- 機械系であり、かつ、変換システムに関心があったこと。
- レーザーがおもしろそうだったから
- 新しい分野だから
- 工学部在籍時に現在の研究室に配属し、研究内容に魅力を感じたため。
- 研究内容に興味を持った
- 学部 4 回生の時の研究に興味があり、継続して取り組みたかったから
- 学部とのつながりがあった
- 研究内容（レーザー・加速器）に興味があったため
- 現在、所属している研究室で取り組んでいる研究に興味を持ったから。
- 根本的なエネルギー問題の解決に関心する研究がしたかったため。
- プラズマ物理学を学びたいと思っていたため
- 理論・実験、両方学べると思ったから
- エンジンに興味があり、その研究室があっ

- たから。
- やってみたい研究テーマがあったから。
- 研究内容が面白そうだから
- 実際に使用される製品に直結した研究がしたかったから。
- 材料物理が好きだったため
- 配属でもれて（基礎志望だった）応用になった。
- 学部からあがったため自動的に今の専攻になった。
- B4 の時に配属された研究室がエネ科所属だったから 11 名
- 学部で学んできたことを活かせると考えた為 2 名
- 行きたい研究室があったので 7 名
- 希望する研究室がエネルギー応用科学専攻だったため 3 名
- 興味のある研究分野があったから 3 名
- 研究内容に興味があったから 2 名
- 自分のやりたい研究とマッチしたため 2 名
- 特になし 2 名
- 無記入 5 名

5. 講義について

5-1 修了に必要な単位数を取得するためにどのような観点から講義科目を選択しますか。

- 専攻（研究内容）との一致、興味
- 基礎を理解している科目、1 時間目ではない科目
- 研究の役に立つ科目
- 研究室が宇治キャンパスなので、研究に集中するために M1 前期で無理してとる。
- 今後、社会に出ていく際に、学んでおきたいと思えるか。
- 出身学部、もしくは研究室のテーマに近い講義
- エネルギーに関する知識を広く講義してくれる科目
- 自分の研究に関連するもの
- 修士 1 年前期で全必要単位がそろうように。
- 興味があるか、役に立つか、自分の専門に近いか
- 研究の障害とならない様、できるだけ速やかに単位を揃える観点から選択しました。
- 興味のあるもの、自分の研究に関連しそうなものを中心に、それ以外は適宜選択しました。
- 専門に近い科目。研究に支障をきたさない時間にある。
- 自分の選考の授業を優先して選ぶ。
- 研究に必要な内容かどうか及び単位取得の容易さ
- 必修及び制約が厳しいコースから、興味があるものを。時間の都合。
- 所属専攻の指定科目を 6~7 割選択し、残りを他専攻の科目から選んだ。
- 関心ある内容かどうか、修士 1 年の前期に開かれている講義かどうか、
- 取得しやすい、自分の興味、関心がある、
- 必要単位数内で興味のある科目を選択（過剰に選択しようと思うほど興味のある科目もないが）
- 自分の研究に役立つ知識を得られると思ったものや、その他興味を感じたもの
- 単位を取りやすいか、実験に負担をかけないか、
- 簡単に単位の取れるものと専門に必要なもの
- 興味のもてるもの。環境問題等。
- 前期に全て単位を取得したかったから
- 自分の専門に必要なあるいは重要であると思われる科目
- 自分の専門に生かせるもの
- 専門に関係が深いか
- 専攻の指定及び興味
- 自分の研究内容に近いもの
- 専攻など関係なく、自分の興味関心という観点で
- 学びたい科目か否か。
- 研究に関係のある講義科目を選択
- 自分の将来に必要と思われる専門かどうか
- 内容が研究とつながりがあるか、あるいは単位の取りやすさ
- 自分の修士研究と関係のあるものを選択した。
- 専攻内の単位を優先して取る。

- ・自分の研究に役立つ。興味をもった科目
- ・自分の研究に関するもの、興味のあるもの、単位がとりやすいもの
- ・修士論文を仕上げるために必要となりそうな知識を得られる講義、また社会で役立つような講義
- ・興味の有無、内容を理解可能かどうか
- ・まずは所属する専攻から選択。その他は興味のある科目を選択。
- ・自分の研究に関係のあるもの、自分が興味を持っているものを優先的に選択した。
- ・自分の専門と関連性があるもの
- ・自分の研究に関する講義
- ・研究室にいる時間を確保するため、午後の科目は避けて自専攻の科目をできるだけ多く選択（ただし通論と集中講義は必ず選択）し、M1の前期でほとんど単位が揃うようにします。
- ・自分の研究に関連する講義だけでなく、他分野の講義を受けて知識の幅を広く持つ
- ・必要な単位数を取れる範囲で、興味のある教科
- ・研究室関連科目を除く単位分とは、最小限の科目数を満たすように選択
- ・役に立つかどうか
- ・専門に対する関連性
- ・研究に関係ありそうな科目
- ・楽そうなもの
- ・専攻分野と興味のある分野
- ・電気系（出身学部・学科）に近い授業、又は現在の研究に必要な授業。
- ・専攻に役立つ、あるいは、興味がある
- ・まず、自分の興味のあるもので出来るだけとるようにするが、それでも足りない様ならば、簡単だと言われているものをとる。
- ・自分の研究の糧となるかどうかによって選択
- ・2年間の研究に対する必要性、個人的興味
- ・専攻のみならず、興味のある科目は他専攻でも可能な限り選択する。
- ・幅広く環境・エネルギーについて学びとれる科目
- ・ブラズマ関係を中心に興味のある分野、役立つような分野を。
- ・自分の選考に関係のある科目を選ぶ。
- ・自らの専門性を高める観点と単位取得が容易であるという観点。
- ・自分が受けてみたいもの、また受けた方が良いと思われるものを選択。
- ・幅広い知見を得られる。
- ・まず自分の専攻にマッチしてそうな科目をとり、次に研究をするにあたってためになりそうな科目を選択した。
- ・前期で揃うように
- ・自らの研究に必要とされる学問かどうか
- ・特に気にせず揃うと思う
- ・面白い講義内容かどうかで決める
- ・宇治との往復が無駄なので、できるだけ短期間で取れるように。選択の余地は殆ど無い。
- ・研究テーマと興味
- ・基礎は講義科目数が少ないので選択できない。
- ・単位が取りやすいかと興味があるか 2名
- ・自分の興味に応じて選択しました。 11名
- ・自分の興味・関心に合う講義を選ぶ 2名
- ・単位が取りやすそうかどうか 2名
- ・研究に役立つそうか、興味のある研究分野か 2名
- ・無記入 4名

5-2 単位取得の観点から講義科目全体をみてその配当についてどう思いますか。

適切である：45名、 不必要な科目が多い：29名、 いずれでもない：22名、

無記入（理由含めて）：1名

その理由は、

適切である

- ・不満に思ったことがない
- ・それなりに専攻に合った講義がなされていたのではないかと思う。
- ・専門外の講義を受ける機会があるから
- ・物理系と化学系のバランスがよいから
- ・研究と授業の時間配分がちょうどよかったから
- ・特になし
- ・特に問題を感じないから
- ・自分の研究分野から遠くはなれたものを選択しなくてもよい
- ・修了に必要な単位数が十分に少ないから
- ・動機通り、幅広い分野で勉強できたから
- ・特に不満な点がない
- ・一年間で取得でき、研究に専念できるので。
- ・教養的に感じる科目も、専門と異なっても人間的成長につながり役立つこともあるから
- ・十分に修了できると思う。
- ・文系理系さまざまな科目があるから
- ・単位取得に困ることがなかったから
- ・特に不適當と思われる科目がないから
- ・自身の研究の妨げにならない科目数であるから
- ・幅広く興味をもてる
- ・総合的な力がつく
- ・1回前期で十分揃うから
- ・バランスよく配当されていると思う。
- ・必要な講義のみで単位が揃ったため
- ・多すぎず少なすぎない 2名
- ・無記入 20名

unnecessary科目が多い

- 実際の研究課題にあまり結びつかないものが多く、講義に時間がとられすぎてしまうから
- 研究内容を全く関係の無い科目を受けるのは時間的にももったいない
- 専門分野が広範囲すぎる
- 応用は幅が広すぎる
- 時間的な拘束が大きい。前期中に単位はそろえたい願望があるため他専攻科目について(コマの都合上)必ずしも関係のない科目を選択しなければならない。
- A 群, B 群など制約が多い。
- 応用の各研究室に必要な専門時間がバラバラであり、現在の研究を行う上で履修が有益な自専攻科目は 2 つ (4 単位) しかなく、それ以外は不必要であると感じる。
- 電気系の科目は少なく感じた。しかし、多くの分野のことが学べるという点では良いと思う。
- 授業内容がかぶるものがあるため
- 必要な単位数を少し減らし、各講義の内容を深めてもよいと思う。
- 全く専門外の科目が多いため
- エネルギー問題ばかり議論している。似ている授業が多い。
- 物理系の科目が少ない

- 概論が多すぎ
- 特に自然科学系が専門に特化しており、他研究室の学生に有用な情報でない
- 自分の専門以外で非常に専門性の高い授業を受ける必要があるから
- 「不必要」というよりは「不親切」でしょうか。圧倒的に門外漢が多い中でその人々を care しているとは思えない講義がある。院科目としての事情もあると思うが。
- 異なる分野の講義は、全く興味が沸かなかった。単位をとるためだけのものだった。
- 興味がわからない (よくわからない) ため。
- 他学科の教授の授業は知識がないため、講義内容を理解できない。
- 専門に傾きすぎていて、当該研究者以外の又は、他専攻の学生が一般学門として聴講するには困難な科目もある為。
- 物理化学や材料科学の配当を増やして頂きたい。
- 基礎系の授業が少なく、社会・環境系まで出る必要がある。
- あまりにも専門知識を必要としすぎる点。
- 単なるお話のような講義があるため
- つまらない
- 自分の研究分野に関係のないものが多いから
2 名
- 無記入 1 名

いずれでもない

- 基礎は講義科目数が少ないので選択できない。
- 視野を広げる主専攻以外の分野についても多少の back ground を知ることはいいことだと思う。ただ、毎日、2 と 4 限みたいにパラパラ講義があったら宇治に来られない。
- 他学部の系統の講義もあり、なんとも言えない。
- 内容が講義で違いすぎる
- 質問の意図がよく分からない。
- 不要と感じる科目はないが、必要十分と感じられるほど、科目は充実していない。
- 自分の取り組んでいる研究内容に役に立つか、という点で多少疑問を感じるから。
- 自分の興味ある科目もあれば、そうでない科目もあるから
- 専門に関係のない科目を受講する必要があるが、別に悪いことではないと思う。

- エネ科自体が多学部からの複合であるので、ある程度、新しい分野の講義を受ける必要があるから。
- 応用専攻科目が前期に少ないのが不満
- 専攻内の講義科目は適切であると思うが、他研究科の科目には、さらに研究に適した科目があるから
- 博士課程は講義自体が少ない。
- 特に片寄りを感じない。
- バリエーションが少ないというか、みんな取る授業が同じ
- そもそも修了に必要な単位数が多すぎると思う。
- 内容に偏りがあるように思いました。もう少し文科系の科目があってもよいかと思えます。
- 特に興味のない科目をとっていないから
- 無記入 4 名

5-3 受講した科目で理解が困難な科目がありましたか。代表的な科目名を 1 つ挙げてください。

- 塑性力学
- 無記入(ただし、理由あり)
2 名
- エネルギー環境論
- 量子力学

- 集積回路論
- 社会・環境基礎
- 先進材料の力学
- プラズマ
- 先進エネルギー論 (集中:

- 応用専攻の分)、また、集中講義全般
- エネルギー環境学
- 解媒機能化学論
- 電磁エネルギー学特論

- ・核融合関連
- ・エネルギー材料学
- ・電力高密度利用学
- ・プラズマ関連などで
- ・解媒機能学 (①+しかも酵素の話で農学部っぽい, ①)
- ・プラズマ計測学
- ・エネルギー材料学
- ・エネルギー社会工学
- ・物理化学特論
- ・光利用科学
- ・核融合プラズマ工学 (後半)
- ・エネルギー物理化学
- ・環境経済学
- ・光利用化学
- ・エネルギー経済
- ・電磁エネルギー学
- ・X線結晶学
- ・エネルギー経済論
- ・プラズマ基礎
- ・先進エネルギー生成学
- ・核融合プラズマ工学
- ・プラズマ論
- ・エネルギー輸送工学
- ・エネルギー経済論
- ・なし 21名
- ・無記入 21名

理解困難である理由は何ですか

出身学部で履修したことがないので基礎的な部分わからないから：33名、
講義の進み方が速いから：3名、 題材の提示法がうまくないから：9名、
その他：4名 (以下の理由)

- ・酵素の話で農学部っぽい
- ・授業下手すぎ
- ・基本的な部分わからないから
- ・「理解」が困難としてではなく、「受講」が困難として回答した学生の理由：「自分は宇治キャンパスであるので、吉田の掲示板を頻繁に見られないため、HP 掲示板を頼りにしているが、変更や開講が HP 上では示されないもの多数。そのため、受講できなかったものが2コマある。もちろん自分の不注意による部分がほとんどだが、HP 掲示板を存在させている以上、本物と同じ内容でなければならないのではないか？」

学部時代にもっと勉強しておけばよかったと思う科目は何ですか。(複数可)

- ・物理数学, 英語
- ・化学
- ・光学, 非線形光学, 量子光学, 電磁気学, 量子力学
- ・電磁気学, 工業数学
- ・基礎的な数学, 線形代数, 微積, ベクトル解析 etc.
- ・熱力学, 統計学
- ・化学全般
- ・化学系科目 (とはいっても、現在の自分の足元が怪しいため、現在の講との関連ではない.)
- ・プログラミング
- ・電気系, 深い物理系
- ・金属関係
- ・経済学, 物理化学, シミュレーション
- ・物理, 化学 (もともと、文系であったので、仕方がないのだが)
- ・熱力学関係の授業
- ・経済
- ・数学, 熱力学, 量子力学
- ・経済学関係
- ・電気化学
- ・電気
- ・経済などの一般教養
- ・流体力学, 化学, 数学
- ・線形代数学・反応工学
- ・線形代数学
- ・物理学全般, 化学全般
- ・力学, 熱力学, 統計力学, 線形代数, 電磁気学, 量子力学
- ・無機化学, 電気化学, 有機工業化学
- ・数学と実験基礎
- ・システム工学
- ・有機化学, 物理化学, 化学工学
- ・材料関係の科目
- ・熱力学, 統計学等
- ・材料組織学
- ・物理
- ・熱力学など
- ・量子力学, 電磁気学
- ・数学, 力学
- ・電気系の講義, エネルギー系
- ・物理数学
- ・数学, 英語
- ・材料力学, 英語, 原子レベルの拡散の話 (名称は失念)
- ・伝熱
- ・流体, 電磁気
- ・電磁気学, 物理工学
- ・数学, 量子力学, 相対論
- ・数学 (統計)
- ・熱力学
- ・電気回路
- ・制御工学, C 言語
- ・流体力学, 統計力学
- ・数学の基礎 (線形代数), 基礎有機化学
- ・化学工学
- ・理数系科目. 特に統計 (手法). また, 研究手順と考え方.
- ・材料力学, 流体力学 3名
- ・統計学 2名
- ・数学 4名
- ・英語 4名
- ・流体力学 3名
- ・特になし 3名
- ・物理化学 2名
- ・電磁気学 2名
- ・無記入 18名

5-4 その他

開講してほしい科目や講義内容等, 要望を記してください。(複数可)

- ・転位論, 金属学関係の講義を希望
- ・企業の人に仕事内容や業界についてプレゼ

- ンしてもらうようなもの
- ・他専攻の科目も不必要であり、私のような畑違いの学科出身の学生が研究するために必要なのは理学部・工学部3～4年配当の科目であると感じる。したがって、他専攻の枠を減らし、自専攻の特別基礎科目と他研究科科目の枠を増やせば、単位取得と同時に研究に必要な基礎知識も身につく、私のような学生には有益である。
- ・数学の基礎から発展まで、英語の能力を養う講義
- ・物理化学の電気化学分野
- ・生体材料の講義
- ・『実践的論文英語』専門科目を英語でやるのではなく、論文の書き方に特化する。
- ・心理学
- ・採点基準をより厳しくする。でないとも真面目に授業に出ている人が損をする。
- ・燃料電池についての専門的な授業
- ・化学系学生のための物理系科目（あるいはその逆）、システム上は学部科目の選択が可能だが、現実的には厳しいので。
- ・より基本的な授業（他分野（電気系など））
- ・基礎的な科目
- ・〇〇先生の授業のように、測定法、分析法を中心とした講義があればその後の研究に大いに役立つと思います。
- ・物理化学や材料化学に関連する科目を増やしてください。
- ・分析機器の原理などの授業
- ・できれば、工学的な知識に関する補習などがあればよかった
- ・英語のリスニングとスピーキングの実践的な講義
- ・計算機を用いたさまざまな数値解析法
- ・プレゼン形式やディスカッション形式の講義
- ・電気回路、プログラミング言語
- ・単位数が多いので減らしてほしい

- ・国際機関などで活躍されている方々の話がきけるようなもの
- ・SPS（Solar Power Station）関連の壮大な講義
- ・世界のエネルギー困難国の現状と克服法
- ・実験基礎
- ・MOT 関係
- ・05年度に開かれる筈だった佐和隆光先生の講義
- ・各研究室の研究内容についての講義がほしい
- ・システム工学・プロセス制御
- ・結晶成長に関する講義
- ・大学院の授業ともなると、学生よりむしろ先生の方にやる気が感じられない授業がいくつかあるので、そのくらいなら開講しない方がいい。
- ・論文の読み書き
- ・FEMについて。「ある現象について何かを知りたい時、どのように用いるべきか」みたいなもの。例：（粉体の表面の結合状態を知るにはEPS（だったかな？）を用いるべし）
- ・量子力学、統計熱力学、熱力学
- ・国際的視点に立った講義内容の科目がほしいと思う。
- ・講義科目を増やしてほしい。
- ・数値計算に関する講義をより充実させてほしい
- ・吉田までの移動が不便
- ・分光学
- ・電気回路
- ・大学（院）と高校の隙間をぬうような数学、物理、化学
- ・文化系および環境にまつわる語学教育を要望します。
- ・実際にPCを使ったシミュレーション演習
- ・量子力学 2名
- ・プログラミングの方法 2名
- ・なし 17名
- ・無記入 32名

6. 研究指導について

きめ細かい指導を受けている：54名、
 研究テーマだけを与えてもらって自由に研究を進めている：33名、
 ほとんど指導を受けていない：5名、
 テーマも自分で決め、自由に研究させてもらっている：1名、
 助教授からのみ指導を受けている：1名、満足する指導を受けている：1名、
 助教授から細かい指導を受けていて特に不満はなし・教授から指導は受けていない：1名、
 無記入：4名

※「きめ細かい指導を受けている、研究テーマだけを与えてもらって自由に研究を進めている」の複数回答3名含む

※「きめ細かい指導を受けている」の中に「研究テーマを与えてもらって、実験等にも細かい指導を受けている」と回答した1名を含む

要望を記してください。

きめ細かい指導を受けている

- ・指導して下さっても理解できない部分もありますが、それは私自身の知識不足が原因なので、

指導に対する要望はありません。

- ・決して言えません。
- ・自分が指導に應えるだけです。
- ・授業との両立が困難（宇治なので）
- ・連絡事項は少なくとも1週間前をお願いしたい。
- ・自由に研究を進めたい
- ・無記入 32名
- ・特になし 12名
- ・これでよい 2名

研究テーマだけを与えてもらって自由に研究を進めている

- ・実験装置の管理者は必ず必要である。技官が少ないと思う。
- ・もう少しきめ細かい指導でもよいかと
- ・自分が到らないだけなので、要望はない
- ・できるだけ自分で選択したかった
- ・このままでよいです。
- ・コミュニケーションをうまくとってくれないのが困る。
- ・ため息をつかれるのが怖い。
- ・特になし 6名
- ・無記入 17名

ほとんど指導を受けていない

- ・人により評価の基準が異なるのが気になる。
- ・自分がやりたかった分野を、自由に研究させてもらっている。
- ・もう少し指導を受けたい。
- ・きめ細かい指導をしてほしい。
- ・無記入

きめ細かい指導+テーマを自由に与えてもらって自由に研究

- ・十分な指導もしていただいています。
- ・自由にやらせてもらっているが、適切な場面で適切な指導をしてもらっている気がする。現状を維持してほしい。
- ・担当教官は熱心に指導して下さっている。

もともとの選択肢以外からの要望など

- ・研究室だけでなく、個人的な事情を考慮して指導して頂きたい。
- ・研究テーマを自分で考えなければならないのがきつい。
- ・なし
- ・満足する指導を受けている
- ・無記入 4名

7. 学生教育で最も充実してほしいことは何ですか（複数可）

教育設備について

- ・勉強だけでなく、スポーツができる場所（グラウンドやスポーツ施設など）を提供してほしい。
- ・レクリエーション施設（スポーツ関連設備等）
- ・お手洗いをきれいにしてほしい。
- ・建物をきれいにしてほしい
- ・大地震で倒壊しそうな建物が多い。不安。
- ・プレゼン用のノートPCを常備してほしい。（毎回自分のノートPCが使われている）
- ・自販機の設置
- ・熊取にも本部の事務局のようなものを設けてほしい
- ・研究室内にない設備を研究科として得有して、不自由のないようにしてほしい
- ・実験室の数が足りない。
- ・清潔な校舎、研究環境
- ・学部の方が建物がきれいだった
- ・パソコン
- ・宿泊設備
- ・居室が古くて汚い
- ・各研究室のHPを充実させて、他研究室が何をやっているかを詳しく知りたい。
- ・共同利用できる大型の分析機器などで、頻繁に使うものではない装置を共同購入して欲しい。
- ・食堂
- ・冬に203教室が寒い。
- ・研究室が狭い
- ・図書館が使用しづらい（本が分散しすぎ）
- ・雑誌、図書
- ・実験ができる環境
- ・2号館は汚い
- ・図書、コピー機（学生用）

- ・吉田と宇治キャンパスに分かれているのがしんどい.
- ・教科書, 参考書が高いので, 補助してほしい.
- ・既に十分充実しています. 強いて挙げるなら, 実験室の設備.
- ・予算が少ない.
- ・宇治地区の図書館
- ・実験室の安全面
- ・研究費, 実験室面積
- ・全館完全禁煙
- ・宇治, 桂, 吉田に本がバラまかれていて, 面倒. オンラインのよりいっそうの充実を.
- ・学会などの旅費などを実費で支払ってほしい.

教育制度について

- ・学部の1年生, 2年生の段階から, どの研究室がどんな研究を行っているかを説明会などで公開した方がよい.
- ・奨学金
- ・根幹となる知識の構築
- ・Dr コースで生活費をまかなえるようなシステムがあればより増えると思う.
- ・現在, 学部4年, 修士2年で行っている教育は, 学部4年でやってしまうべきである.
- ・初歩的な説明に重点を置いて欲しい.
- ・基礎の科目が少ない
- ・卒業に必要な取得単位数を減らし, 各個人の研究に割く時間を増やす(宇治キャンパスから吉田に通うにも時間がかかる)
- ・論文投稿, 掲載, あるいは学会発表をもって単位を認めるなど, 研究の外部公示能力を身につけるような制度
- ・学部の授業も単位認定してほしい
- ・自由な校風, 教育制度かもしれないが, もっと学校側からの働きかけが必要だと思う.
- ・専門分野と重なる授業が増加すること

教員の資質について

- ・授業は総じて下手. 分かっただけという気がなさすぎ.
- ・学生のレベルに合わせた授業を.
- ・もっと興味をわかすやり方があるはず.
- ・学生との個人的な交流(学問的な)ができる教員が増えて欲しい.
- ・良い人は良いが, 悪い人は悪い.(講義について)
- ・学生を教えることに, 研究成果と同等の価値を見出す.
- ・ポスドクや助手の充実
- ・問題はあまり感じない.
- ・人間性
- ・高いと思います.
- ・研究に関する指導をされていない学生へのサポート
- ・授業や生徒の教育をしない人については,

い.

- ・設備については, それなりにしっかりと充実していると思う.
- ・ハイスペック PC がほしい.
- ・校舎をきれいにしてほしい.
- ・倒壊しそうにない建物←理学部物理教室(趣も大事とは思いますが・・・)
- ・新しいパソコン, 多種のソフト
- ・設備は十分であるが, 使用方法を知っている人がほとんどいない.
- ・吉田と宇治に分かれているのが不便
- ・ジムや運動施設の充実
- ・特になし 19名
- ・無記入 35名

- ・博士後期課程への進学を受け入れ状況(当人の資質の問題だとは思いますが, 研究室間での格差が大きいように思います.)
- ・単位制廃止
- ・他学科の単位をもっと認定する
- ・「応用」に関しては, 専門科目が少なすぎ(そしてバラバラすぎ). それは仕方ないとして, 他学部, 他大学院の単位の認可数を増やしてほしい.
- ・あまりにまとまりがない. 名前をきいても全く実態が見えない研究科. 他で「エネ科です」というのは多少はざかしい.
- ・基礎学力が身につくような授業, 討論等の開催.
- ・講義で取得すべき単位が多い. 欠席についても厳しい.
- ・もう少し, 単位取得を減らす.
- ・外部の講演会や学会など, 課外活動を充実してほしい.
- ・特になし 28名
- ・無記入 48名

教員から外して欲しい.

- ・全ての教員が教育熱心であってほしい.
- ・人格
- ・指導に熱心でない教授は適任ではないと思う.
- ・博學で慕うことができる.(やや強制的な部分があったが.)
- ・何人かの先生は, 声が小さく, 静かで, 聞き取りにくかった.
- ・教育熱心な人.(研究も当然)
- ・もっとエネ科(エネ理工)教員同士仲良くした方がいいのでは? ex)理学部では有志がワインアンドチーズセミナーなるものをやっていますよ.
- ・よりやる気のある授業
- ・進学, 就職に関するアドバイス
- ・研究に関する知識は豊富かもしれないが,

- 指導者としてはあまりに未熟すぎる。
- ・教員は研究者であるのと同時に指導者でもあることを忘れないでほしい。
 - ・知識を伝えようとするバイタリティ
 - ・学外よりコミュニケーションスキルの先生を呼ぶなどして、学生とのコミュニケーション

ョンを円滑にすべきである。謙虚な姿勢の先生はさすがだなと思うが、そうでない先生が多い。

- ・特になし 30名
- ・無記入 42名

その他

- ・工学研究科には就職セミナーの様な、企業合同説明会があったのに、エネ科はないのか？
- ・宇治キャンパスもが学割証明が取れるようにして欲しい（実習証明でなく）
- ・館内、或いは出口付近に喫煙所を設置するのはやめて欲しい。全面禁煙にすべし！
- ・学生寮がほしい
- ・研究室をまたいだ交流が少ない（「教育」ではないですが）。→内部完結して視野が狭くなっているかもしれないから
- ・他研究室の実験装置の情報の開示
- ・（エネ科と関係ありませんが）図書館の本の分散をくい止めて欲しいです。特に附図から

桂への移転は不便です。

- ・結局のところ、指導者を充実させる必要があるのかもしれませんが。
- ・研究に必要な資料や論文が入手できる環境
- ・食堂、購買（でも、宇治食堂もがんばっていると思います）
- ・研究科内また他研究科同士の交流を深めてほしい。
- ・事務手続きを宇治と吉田両方で行えるようにしてほしい。
- ・研究に関する金銭的補助
- ・特になし 14名
- ・無記入 70名

8. 入学前の期待と入学後の現実との間にギャップがありましたか

ある：30名， ない：65名， 無記入：2名

ある場合どのような点ですか

- ・講義がたいくつ
- ・実験器具が不足している
- ・学部の授業で知識がついた気がしない。
- ・教授が何もしない点。教員とは思えない。
- ・通っているキャンパスで講義が行われていない。
- ・研究内容は、3回生には、所詮わからないため。
- ・取得すべき単位が多かった。
- ・研究が進むと思っていた。
- ・エネルギーとは関係
- ・研究室内でもっと先生と学生との交流が円滑で活発だと思っていた。逆に授業では、とても親身になって分かり易く教えていただいていた。
- ・大学の中で中途半端な位置付け
- ・もっと講義内容が専門に近いものがあると思っていた。
- ・社・環でも、やはり理系
- ・研究科全体としての結びつきが弱い。
- ・高校の続きのような感じがした

- ・責任あるイベントが多くあること。
- ・エネルギーとほとんど関係ない。
- ・授業の種類が少なかった。
- ・難しい内容を知っているという前提で授業が進んでしまう。
- ・教授はもっと教育熱心であると思っていた。
- ・思っていたよりも講義が充実していなかった。
- ・教授が学生に対して責任ある指導を行っていない。
- ・楽しいことばかりではない。
- ・研究しにくい環境で、外部の者として理解されにくかった。のびのび楽しく研究したい。
- ・あまりにそれまでに勉強していたことと畑違いなので、自分の持っている知識はほとんど無駄で、学部の科目を履修しなければ理解が追いつかない。あと、博士後期課程に進学するつもりだったのにできなかったこと。
- ・あまり専門的知識が身に付いていないと思う。
- ・エネ科という割に、普段の生活で省エネなどをしない。

9. 入学前に博士後期課程への進学することを考えていましたか

考えていた：16名， 考えていなかった：66名， 決めていなかった：14名， 無記入：1名

その理由は何ですか

考えていた

- ・専門家になりたかったから。
- ・研究者として身を立てる為
- ・研究職に興味があった
- ・研究職につきたいと思っていたため
- ・高性能が求められる「開発」よりも学問的

探求に興味があるから。

- ・より高水準の研究に興味があったから。
- ・より本格的に研究に取り組みたいから。
- ・博士号を取れるうちに取りようと思ったから。
- ・一番やりたいテーマがある為。将来の夢を

実現する為.

- ・専門知識を極め、大学や公的研究機関で研究職に就くことを目標としていたから.
- ・博士課程に行くために入学したから.
- ・単なる憧れ

- ・好きな研究を続けられるなら、ずっと続けていきたいと思っていた.
- ・自分の専門性を高めたかった.
- ・研究者になりたかった.

考えていなかった

- ・興味がない
- ・企業での就職が最優先だったから
- ・将来研究で生計を立てるつもりはないから
- ・就職できなくなると聞いていたから
- ・就職前提でエネ科に入学したので
- ・企業に入って自分を評価してもらうため
- ・年齢的に就職しようと思っていたから
- ・就職に不利になる
- ・就職するつもり
- ・民間企業への就職を考えているから
- ・金銭面もあり、家庭も早く持ちたいので
- ・就職を考えていたから
- ・社会に出たいから
- ・早く働きたかった
- ・博士までいくと就職も困難であり、一生研究を続けていこうとは思わなかったから
- ・企業で研究を行いたいから
- ・就職を考えていたから
- ・早期の経済的自立が必要だったから
- ・社会に出たかった
- ・就職したいため
- ・就職したいので
- ・大学の狭い世界に閉じこもりたくなかったから
- ・就職のしやすさを考えて
- ・Dは就職が厳しい
- ・早く社会に出たいから
- ・就職を考えているため
- ・修士課程で十分だから
- ・就職を希望

- ・修士課程を終えたら就職したかったので
- ・就職しようと考えていたため
- ・学んだことを企業で活かしたかったから
- ・就職願望が強いから
- ・将来が見えないから
- ・経済的な事情
- ・修士課程修了時に就職するつもりでいたから
- ・社会に出たい
- ・早く社会に出て稼ぎたいから
- ・思いをめぐらしていなかった
- ・就職し社会に出たかったから
- ・研究者にはなりたくないから
- ・Dに行く理由がない
- ・就職希望のため
- ・学費の負担、博士号取得後の進路
- ・金銭的な理由
- ・企業に就職したかったから
- ・就職を見据えて入学したから
- ・就職するつもりであったから
- ・お金の都合
- ・就職を考えている
- ・就職したかったから
- ・博士後期以降の未来が見出せなかったから
- ・就職するつもりだから
- ・就職したいから
- ・仕事したいから
- ・就職が難しくなるから

決めていなかった

- ・入学してみなければ判断できないと考えていたから
- ・判断材料の不足
- ・研究してみないとわからないから
- ・就職希望

- ・企業に入って、身を固めたかった
- ・博士課程を理解していなかったから
- ・自分の可能性に応じて適宜判断したかったから
- ・D進学は実現的に思えなかった

入学してからはその考えに変わりはありませんか

当初の希望通り進学することに決めた：6名、就職を考えていたが進学することにした：5名、進学を希望していたが就職することにした：8名、M1の後期までに決められなかった：4名、当初の希望通り就職することに決めた：5名 入学してからもその考えに変化なし：12名、いろいろ考えが変わったが、今は指導教授の返事待ちである：1名、M1の後期には就職を希望するようになった：1名、就職することにした：1名、就職と進学とで迷っていたが就職することにした：1名、どちらともいえない：1名、不明：1名、無記入：51名

その理由は何ですか

当初の希望通り進学することに決めた

- ・初心が残っていたから
- ・当初の希望通り進学することに決めたから

- ・高性能が求められる「開発」よりも学問的探求に興味があるから
- ・将来は研究職につきたいから

就職を考えていたが進学することにした

- ・この分野で将来働きたかったから
- ・もっと専門性を磨きたいと思ったため
- ・民間社会への就職に魅力を感じなかったから

進学を希望していたが就職することにした

- ・お金の問題. 勇気がなかった. 入学後の努力不足による資質の乏しさを感じた.
- ・経済的負担から
- ・自分が博士に進む適性がないと感じたから
- ・進学するために最低限必要な基礎知識と研究への適性が足りないと指導教官の先生に判断され, 進学を断られたために断念し, 就職活動することにした.
- ・自分の頭が悪すぎた
- ・経済的な問題. 拘束時間の長さ. 健康面での不安.
- ・研究室内の雰囲気悪さや, 社会から見た大学の閉鎖的な雰囲気
- ・現実に気づいた

M1の後期までに決められなかった

- ・財源的な問題で.
- ・どちらにも魅力を感じるから
- ・就活をやりながら考える.

当初の希望通り就職することに決めた

- ・就職のことを考えて
- ・当初の希望通り就職することに決めた
- ・入学してからも, さらに博士課程には魅力を感じられなくなったから

入学してからもその考えに変化なし

- ・将来の自分が博士進学の場合, 検討つかないから
- ・ドクターになるメリットが分からない

就職することにした

- ・経済的に自立したかったから

就職と進学とで迷っていたが就職することにした

- ・経済的に独立し, 借金(奨学金)を返済するため. 企業研究に魅力を感じるため

10. エネルギー科学研究科を修了した後, どのような職業を選びたいですか(複数可)

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・未来のエネルギーを研究する職業 ・進学, 留学, 研究所職員 ・国分野にある企業 ・研究職(現時点ではその境遇に関心はない) ・企業等の研究所, 大学教員 ・研究員 ・機械・電気・インフラなどの技術職 ・研究・開発職 ・エネルギーに関わる仕事 ・メーカーの開発職 ・エネルギー問題に関する仕事 ・エネルギー科学研究科は関係なく職業を選びたい ・エネルギー事業, または環境問題に関連した職業 ・開発職 ・広告 ・現在の勉強を少しでも活かせるところ(職業) ・エンジニア | <ul style="list-style-type: none"> ・研究職(企業であるかどうかは特に問わず) ・大学あるいは他の研究機関の職員・社員 ・コンサルタント(経営) ・エネルギー・環境の分野で活躍したい ・内定先→機械メーカー(情報系) ・政治力のあるサラリーマン ・液晶パネル関連のメーカーでの研究・技術開発(既に内定済みで4月からの入社が決定しています) ・専門職 ・エネルギー産業 ・研究員等 ・自分の関心, 専門性を活かせる職業 ・会社員(通信系) ・研究職, 鉄鋼や重工業 ・メーカーの研究者 ・民間(研究・開発職) ・環境系, エネルギー系, 自分の思うような何でも ・大学教員ならびに興味のある職業 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- ・自分の研究を生かせる職業
- ・既に選んだ（研究内容を活かせる仕事）
- ・今の研究が生かせる分野もしくは公務員
- ・サラリーマン
- ・研究内容を活かせる仕事，あるいはさらに自分が成長できそうな仕事
- ・車関係のメーカーで研究職
- ・エネルギープロジェクトに関する仕事
- ・コンサル・シンクタンク・メーカー
- ・メーカーの技術者
- ・材料メーカーの技術職等
- ・金融，ベンチャーキャピタリスト
- ・エネルギーにたずさわりたい
- ・電力インフラやメーカー
- ・インフラ系
- ・未定
- ・企業の研究職
- ・電力，機械メーカー
- ・地球環境問題やエネルギー問題に関するところ
- ・自動車分野，エネルギー分野への民間就職
- ・エンジニア，システムエンジニア，コンサルタント

- ・技術系会社員→経営
- ・鉄冶金の知識が生かせる鉄鋼業
- ・鉄鋼業（高炉メーカー）
- ・理系知識を生かした総合職
- ・研究してきたことがいかせる仕事
- ・エネルギー生成に関連する仕事
- ・メーカーの技術職など
- ・製造業，エネルギー産業
- ・会社員
- ・インフラ
- ・電力系，インフラ系
- ・職種にはこだわらない
- ・具体的業界は決っていない．やりがいのある職業がよい
- ・総合職的技術系
- ・メーカーのエンジニア
- ・研究職 3名
- ・技術職 4名
- ・開発・研究 2名
- ・技術者 2名
- ・研究・開発職 2名
- ・メーカー 4名

11. 大学教員を魅力ある職業と考えますか

魅力あるのでできればなりたい：14名，魅力はあるが目標とはしない：44名，魅力はない：35名，無記入：4名

その理由は何ですか

魅力あるのでできればなりたい

- ・自分の好きな研究ができることと，幅広い知識や高度な専門知識を未来の若者（学生）に教える（伝える）ことに魅力を感じるから
- ・所謂あこがれ
- ・高性能が求められる「開発」よりも学問的探求に興味があるから
- ・最先端の技術研究にふれることができる
- ・自分の好きな研究ができてよい．しかし，自分としては一度は社会に出たい．
- ・研究を行う上で，大学が最も情動的，設備的

に優れていると考えるから．

- ・社会に出た後にこそ，次世代に伝えることがあるはず．
- ・修士，博士での研究業績が他のどのような職業よりも生かせるから．
- ・様々な困難はあるとは思いますが，好きな研究に取り組めるので．
- ・母校で優秀な人材教育を行いたい為．
- ・研究のための研究ができるから
- ・研究の最先端

魅力はあるが目標とはしない

- ・適性
- ・指導していただいている助教授の姿を見ると，素晴らしい職業であると思う．一方で，教授を見ていると，いつも何をしているのかよく分からないので，魅力的には見えないこともある．教員になることを目標とする気はないが，将来機会がまわってくるようなことがもしあったとしたら，なってみたくらい職業ではある．
- ・なりにくさ．
- ・教員への道が明確ではないから
- ・自分は能力がない
- ・世界が狭いのではないかと思うから
- ・人に物事を教えたり，他人から学べるのは

非常に魅力的であるが，それを目標にするのは何か違う気がする

- ・自己資質
- ・希望してもポストがない
- ・自分には向いていない
- ・ポストにあきがない
- ・幼い頃は憧れたが，実力が伴わなかったから．
- ・社会に出て仕事がしたいから
- ・望む研究を続けていける点が，結果（利益）が出なければ他へまわされる企業の研究員より魅力的であるが，博士課程を終えるだけの能力と経済力が必要であるから
- ・価値観の問題

- ・金銭の問題
- ・研究がある程度自由に進められるところは魅力的だが、教えることには興味がない。
- ・自分のポテンシャルが足りないから
- ・多くの大学教員が、大学という組織の中に閉じこまり、社会との活発な交流が少ないため
- ・なるのが難しそうだから
- ・自分に教育者としての資質がない
- ・研究は大変そうだから
- ・能力的、教育には魅力を感じない。
- ・もっと魅力のある職業がある
- ・同等に魅力ある職業が多数あるので。
- ・大変すぎるから

- ・役割は魅力だが、色々面倒そうな社会だと思う。
- ・ポストが少なく、不確定要素が多い様に感じるため。
- ・給料に限界がある
- ・超激務だから
- ・大変な職業の割には見返りが少ない
- ・さまざまなしごらみがあるから
- ・毎日何をしているのか全くわからないから
- ・裕福なイメージがない
- ・大学教員等は、特に、個人に向き、不向きがあると思われるため
- ・自分の求めるものではないから
- ・経済的自立のため

魅力はない

- ・人間関係が閉鎖的である
- ・大変そうである
- ・精神的につらい環境であるから
- ・魅力ある教員が少ない
- ・目的がはっきりしない
- ・自分はこのタイプではない
- ・教員としてよりも、研究ばかりな気がするから
- ・同僚が腐っている
- ・忙しそう
- ・研究以外の面で束縛が多い
- ・自分の性格に合わないの
- ・見ていて憧れや興味がわからない
- ・一日のうちで、ほとんどがヒマで、毎日があまりにも平凡なものになってしまいがちであるから。
- ・かなりの時間を仕事に拘束されているように見える
- ・大学は閉鎖された空間だから
- ・1つのテーマを研究し続けるのは好きではない
- ・環境の整い方が研究室によって差がある

- ・世界が狭く感じるから
- ・学問を一生の職業としてできる程の知的分野への興味がないから
- ・先行き不安
- ・閉鎖的だから
- ・あまり面白そうではないから
- ・給料が少ないから
- ・興味ない
- ・なんとなく
- ・これ以上大学に残る気がないから
- ・教員間のしごらみ、世界の狭さ、学生の面倒をみる必要がある、研究以上にさかなければいけない無駄な事が多い。
- ・仕事の割に給料が良くない。研究成果、論文等を考慮し、出来高制にすべき。研究費等（お金）の使い方が制限されていて大変そう。
- ・より幅広く社会と関わる仕事がしたい
- ・大学での基礎的な研究よりも、より実践的な研究がしたいから
- ・自分には向かない
- ・大変そうだから